

第2回 苜田町財政健全化検討会議 議事録

日時：平成28年12月8日（木） 13：30～16：00

場所：三原文化会館 1階 大ホール

【次第】

- 1 開会
- 2 報告1：苜田町地方創成人口ビジョンと総合戦略等
- 3 報告2：前回のふり返り：財政シミュレーション改訂など
- 4 議題1：不交付団体の特徴と、福岡県の比較対象自治体の抽出
- 5 議題2：抽出自治体間の分野別指標の比較
- 6 事務連絡：今後の開催日程の確認など
- 7 終了

【委員】

座長	谷口 博文	九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
委員	南 博	北九州市立大学 地域戦略研究所 教授
委員	後藤 和孝	福岡県 企画・地域振興部 市町村支援課長 ←欠席
代理出席	久芳 広規	福岡県 企画・地域振興部 市町村支援課 課長補佐
委員	酒井 了	福岡県 建築都市部 都市計画課長
委員	伊庭 良知	一般社団法人 国土政策研究会 理事
委員	橋詰 拓	株式会社福岡銀行 公務金融法人部 公務室 主任調査役

次第1：省略

2 報告1：苜田町地方創成人口ビジョンと総合戦略等

委員

苜田町地方創成人口ビジョンと総合戦略等について、事務局より説明をお願いする。

事務局（苜田町）

（まち・ひと・しごと創生 苜田町人口ビジョン、総合戦略、まちづくり町民アンケートを等の資料を基に説明。）

委員

御礼を申し上げる。この人口ビジョンと総合戦略は、これから財政健全化を検討するにあたり重要な資料になると考える。それでは、ただ今の説明について、意見や質問はないか。

委員

総合戦略の基本目標について質問がある。数値目標に関してだが、基本目標①②④は意欲的な目標であるといえるが、③については平成26年度の水準よりだいぶ低いように思われる。③が低いのは何故か。どういう数値目標設定か教えて欲しい。

事務局（荇田町）

数値目標として、現状の荇田町の数字を維持するためのものとして出している。現在の荇田町は女性の割合が少なくなっている。女性の人数が減るという中で出生率はなかなか上がらない。そうした現状を踏まえた上でこの数値を設けている。

委員

これでかなり意欲的な目標ということになるのか。

事務局（荇田町）

その通り。

委員

基本目標④の中で、広域行政の推進を挙げている。現在、ごみ処理など広域行政の取組すすんでいるか。例えば、行橋市は北九州市に可燃ごみの委託をしている。それに対して荇田町は様々なもので広域行政が進んでいない印象がある。

事務局（荇田町）

これまで荇田町は多くの行政を単独で行ってきた。現在は広域行政を行えないか議論をしているところ。その上で、将来的に一部は広域行政につながればと考えている。ごみについてはその段階に至っていない。

委員

生産年齢人口について質問がある。町の事業者数を増やしていく中で、生産人口だけ減少することはありえない。人口は減少すると思うが、農業振興等しごとを増やす政策によって生産年齢人口を減らさないことは可能である。これは重要だと考える。そうするとシナリオの中でも生産年齢の人口予測を見直す必要がある。そこが町としても重要な政策になると思う。生産年齢人口について、何か町で検討されていることがあれば教えていただきたい。

事務局（荇田町）

シナリオ①②の大きな意味としては、現状の生産、産業を保つというところがある。社人研の推計でいくと大きく減少するが、約3割減少して人口3万人を維持するという形にしている。現在の人口の維持をすることを前提にすると、減少は15.8%に留まる。2060年の段階なので、労働生産性も上がってくると考えている。

具体的にどのような労働が必要かは読みにくいところではあるが、シナリオ②の生産年齢人口は確保したいと考えている。

委員

将来人口予測のスタート台が、国勢調査のものをベースにする九経調の推計するものになると下がり、そうでないと上がる。スタート台が異なると数字全体の根拠をどう示すかという問題がある。基本的にはシナリオ①②をもとに推計されているということによろしいか。このシナリオは政策を盛り込んだ形であるから単純な推計とは異なるが、スタート台が変わってきたと思う。その点はこれからどのように説明するか。

事務局（荏田町）

社人研のあとに国勢調査のデータが出たため、その点相違がある。国勢調査の人口は社人研のものより少ない。2060年将来展望より増加するような政策を打っていかないといけないと考える。ただし、昨年10月以降の伸びを見ると、増加に転じている。課の集計によると、27年10月～9月の1年間で531名転入増になっている。これは計画時よりも人口は増えていっているという形である。人口の増加についていろいろな政策を打ちながら見ていきたいと考えている。

委員

今の事務局の答えは委員の質問とずれているのではないか。要は、人口ビジョン・総合戦略の数字と本検討会議での財政シミュレーションの数字がリンクしていない件はどう説明するかという話である。その点、考え方を整理すべきだと考える。人口の話もそうだが、総合戦略の中でも財政支出の増加を伴う項目があり、それらの実行を担保した財政シミュレーションにはなっていないと私は認識している。今後シミュレーション結果を発表する際に、必ず町民の方に説明をしていただかないといけない部分だと思っている。

委員

これから政策、方向性を考えるにあたって、今後重要な政策が含まれていると思う。特に、企業誘致、既存産業の再成長と新たな産業の創生による雇用機会の創出などが重要になってくる。それらを踏まえて議論したい。

3 報告2：前回のふり返り：財政シミュレーション改訂など

委員

前回のふり返り、財政シミュレーション改訂について九経調より説明をお願いしたい。

事務局（九経調）

（資料⑤を使って説明。）

委員

御礼申し上げます。只今の説明について、意見、質問あればお願いしたい。

委員

基金の適正基金残高は設定しているか。

事務局（荇田町）

設定はしていないが、運用面で最低20億は必要だと考えている。

委員

この財政シミュレーションは、現状の歳入・歳出がそのまま続くことを前提しており、人口ビジョン・総合戦略の内容は反映していないということによろしいか。

事務局（九経調）

公共施設等総合管理計画（案）など、一部計画における今後見込まれる経費については含んでいるが、あくまでも現状のデータの延長で、人口ビジョン・総合戦略については反映していない。

委員

この財政シミュレーションは前回の意見を反映したということで以上にしたいと思う。

4 議題1：不交付団体の特徴と、福岡県の比較対象自治体の抽出

委員

それでは、不交付団体の特徴と、福岡県の比較対象自治体の抽出について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局（九経調）

（資料③を基に説明。）

委員

御礼申し上げます。大変興味深い資料だと思う。只今の説明について、意見・感想があればお願いしたい。

委員

不交付団体での比較の部分について質問がある。今回の比較から見ると、苅田町が突出している部分、特徴ある部分はあるが、このようなデータで見えない部分、例えば基金の減少などが問題になっている不交付団体の事例はあるか。つまり苅田町と同じ問題に陥っているのではと思われる不交付団体はあるか。

事務局（九経調）

もう少し精査してからご報告したい。おそらく竜王町は同じ状況と考えられる。

委員

財政再建に向けて他団体で実施されている対策や議論があれば、苅田町の議論の参考にもなると思う。またご報告いただきたい。

委員

比較対象として事務局が抽出した県内の自治体に違和感がある。宇美町や広川町は線引き都市計画区域ではない。久山町は線引き都市計画区域ではあるが、町域のほとんどが市街化調整区域である。また、久山町と広川町には鉄道駅がない。比較にならない所があるのでは。

事務局（九経調）

苅田町の特徴が全て該当する自治体はないと考える。今回は、お話した抽出基準に則って行った。逆に都市計画制度が苅田町と合っていて、人口規模の合う所があれば教えていただきたい。

委員

都市計画制度が合っているが、今回の抽出基準には完全にはあてはまらない所ならあると思う。駅のない自治体などと比較するのはどうかと思う。大都市に隣接しているという点で、もう少し福岡市周辺の自治体などを検討してみてはいかがか。

委員

この後、行政サービスの比較があると思うので、それを見てから抽出基準についても再検討はあると思う。そもそもこれでいいのかという議論も含めて行きたいと思う。

他に意見あれば。

委員

苜田町を一言で表す特徴を考えている。将来目指す姿と現在の姿を特徴づけて類型を考えたいと思っているが、まだ整理がついていない。次の議題も含めて考えたい。

委員

これからどうやっていくのかということを考える上で、苜田町をどう捉えるかという点ももう少し考えていきたい。

5 議題 2：抽出自治体間の分野別指標の比較

委員

次に、抽出自治体間の分野別指標の比較について、説明をお願いしたい。

事務局（九経調）

（資料④を基に説明。）

委員

大変中身の濃い話であるが、資料③④の流れで議論されている。その中で何かあれば意見をお願いしたい。要するに苜田町財政健全化の中で、比較検討対象の自治体や比較項目はどうか、財政の圧迫要因のような意味合いで他に調べる必要がある項目はあるか、などの意見を踏まえて次回の検討会議につなげていきたい。また、中身そのものに対する意見もお願いしたい。どのような観点からでも良いので、何か意見があれば。

委員

まず、資料④のスライド3については、分母（人口や職員など）だけでなく分子も比較可能な指標にしていきたい。例えば、施設や公民館の数の比較があるが、建物には大小があり、単純に比較できない。スライド4の検討の進め方については、歳出額が大きいものを抽出して検討していただきたい。苜田町については、広域連携ができていない分野とできていない分野を比較するのもありだと思う。

スライド6については、まず支出面では、単位人数あたりの公費支出、さらにそれを補足する意味で単位人数あたりの施設の床面積などを数値化すべき。一方、収入面については、イニシャルコストはともかく運営費を受益者負担でどの程度賄えているのか、例えば高齢者福祉分野では介護保険料なども比較できる。スライド7については、単位住民あたりの公費の大小で見るべき。スライド12・15については、学校給食調理従業員数は給食の調理形式が異なるとそのあり方も異なるため、比較の意味がない。スライド18についても、

建物の大小があるため単純に比較できない。スライド 20 の図書館については、一般開放している施設内図書館も施設形態としてあり得ることから留意する必要がある。スライド 22・23 の社会体育施設についても、その内容は多種多様であり、中身が異なるものを数で比較しても仕方がない。スライド 30 の介護保険施設についても、事務局の説明にあったとおり、そもそも中身がばらばらなので一律に並べても意味がない。また、現物給付だけでなく、扶助費の内訳に関する資料にもあったが、長寿祝金のような現金給付について比べるというのもよいと考える。スライド 31 に消防の記載があるが、他の機能も含め、広域行政についての比較もあると思う。

事務局（九経調）

事業単位のコストの分析については、苜田町内部の詳細なデータは取れるが、外部のデータはどこまでとれるかは検討させて欲しい。県で取れるデータがあれば、相談させていただきたい。

委員

福岡県には、事務局に協力して欲しい。できるだけ努力していただければと思う。

事務局（苜田町）

受益者負担については、他の自治体と比較して苜田町は少ないとわかった。現在、他の自治体の水準に合わせて、国民保険や住民票発行手数料など 23 項目の受益者負担について見直しをしたいと考えている。議会の方で調整中である。改めてまた次回の検討会議でご報告させていただく。

委員

施設の利用率について。行橋市、北九州市などとの間の移動が多いことを踏まえると、他の自治体の市民が苜田町の施設を利用する、あるいはその逆もあるだろう。自町民の利用を優遇するメニューがあるのか、それとも他の自治体の住民の利用と条件を合わせているのか。その点は、どのように考えているか。

事務局（苜田町）

自町民を優先したいという気持ちがある。

委員

稼働率の低い施設や、社会体育施設に関する資料に記載されていたような一部の市町にしかない施設の場合、他の市町村の住民の利用も含めて広域を対象に利用を促進したいケースもあると思う。

事務局（荇田町）

そのあたりはまた議会での議論もあると思う。それを踏まえて考えたい。

委員

生産年齢人口を増やすとすると、ただ自町民だけを優遇するのは良くない。一方で、全ての施設を町内にそろえるのは難しい。広域利用も考えて周辺自治体と話し合うべきだと考える。

将来の財源削減を目指すとなると、小中一貫校や人員削減も考えなければいけないが、その点どう考えているか。給食についても、負担削減は可能である。給食形態はどうなっているのか確認していただきたい。また、学校で給食施設を持つ必要があるかということも検討していただきたい。また、先ほども出ていたが、単純に施設数で比較するのは意味がないので、利用者数や利用率などで比較できれば良いと思う。図書館の比較については、スライド 21 の図書貸出数だけでいいのでは。

保育所関係については、民間に変えていくと負担が減るということもある。その検討も必要かと思う。その点は、住民の方の意向を確認する必要がある。利用者からの声を把握して生かしてほしい。

福祉、介護については、医療・介護保険料の推移も見てもらいたい。

コミュニティバスなどのアクセスについては、買い物に行く場所、高齢者の利用機関などのきめ細かい調査が必要になる。検討をお願いしたい。

自分達の町の特性を規定するとやるべき政策が見えてくると思う。その点はこれから議論していきたいと考えている。

委員

委員が前段でおっしゃったことに私も同意する。この比較を何のために行うのか目的がはっきりしていない。歳出減をはかるべきものはどれか、という視点が必要である。

そもそも網羅的に行政サービスの比較や歳出減の検討を行うことは不可能なので、歳出の大きいものなどに絞ることが必要だと考える。また、教育分野などは国の制度や県の負担として決まっている部分があり町で工夫できる部分は限られている一方、町がやっている事業もある。指標でわかることはあまりないのではないか。事務事業について、ある程度絞った形での比較でよいのではと考える。施設の中身についてもそれぞれで全く異なる。荇田町にある施設が他の自治体とどう違うのかを比較するのが重要だと考える。例えばプールについては、冬場に放置される屋外プールと室内温水プールでは、コストが全然違う。その違いを比較することが重要だと考える。

また、教育や子育てを聖域とすべきとまでは考えないが、これらの分野の充実は町が総合戦略における重要施策として打ち出しており、即座に「やめます」というのは個人的に

はどうかと思う。町としての政策の整合性は保つべきではないか。そのあたりを踏まえて比較表を作成するべきだと考える。扶助費についても、先ほど振れ幅が大きいから説明するとの話があったが、町としてはどうしようもない補助事業がかなり含まれている。全体の資料作成の狙い、他の政策との兼ね合い、実際に比較して削減可能かどうかという点から、項目を絞って比較を行うべきだと思う。

委員

国、県の水準を上回ってサービスしている項目を住民の方に示し、明らかにすることが良いと思う。調べてわかる範囲の基準はお示ししていただきたい。

ごみについては削減結果が具体的イメージしやすいが、それ以外の前段の方は歳出の削減にどう結び付くのが資料ではイメージしにくい。最終的にそういう所まで持つていく必要があると考える。

委員

行政サービスのそれぞれの項目について実際にコストがどのくらいかかるか見やすくしていただきたい。合わせて資料④の扶助費については、補助事業の様に対応必須なものは仕方がないが、町独自の事業について突出してサービス提供しているものがあればそれも明示するという形がよいと考える。

事務局（九経調）

ご指摘頂いた通り、歳出減につながるものに絞ってやっていこうと思う。次回に向けては、町で調整ができるもの、広域でやっているかないかということ、に絞って分析したい。

委員

防災計画の中で小中学校や公民館が、どういう人たちの避難場所に指定されているかのデータがほしい。全ての住民が逃げられる施設が整っているのか。そのあたりの具体的な計画があれば教えていただければと思う。

委員

事務局からこれまでの意見に関して何かあればお願いしたい。

事務局（荊田町）

ご指摘を頂き、今日のデータでは過剰なサービスがどれか見えにくかったと感じた。例えば、ごみについてなど、具体的に導入でどれだけの歳入があるのかなどのデータを示したいと思う。また、施設の利用状況についても、データがあるのでそれも合わせてお示し

したい。施設の比較の仕方についても再検討したい。また、現在町立の幼稚園保育園はなく、すべて私立のものである。そのあたり比較してもあまり意味がないのではと感じている。荻田町では、一部で過剰なサービスといえるものがあったと感じている。そのようなデータを次回示していければと思う。

委員

コミュニティバスについて。超高齢社会において車を運転できなくともアクセスできること大事だと考える。コミュニティバスという単一の交通モードだけではなく、鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンド交通といった全体の公共交通網を維持するためにどのくらいの費用がかかっているかという比較もしていただきたい。

固定資産税については、減免はしていないが補助制度を設けているというのはどういうことか聞きたい。また、スライド 26 頁について、他の市町村民も荻田町の保育所に預けられるという実態はあるかについて聞きたい。

事務局（荻田町）

企業誘致補助制度については、条件に従って奨励金を出すというものである。

また、保育所については、待機児童数について、実際に園に入れない人数は今年 5 月時点で 42 名となっている。他の自治体から荻田町にきている実態はある。広域での保育関係はある。

委員

荻田町の保育所に他の市町村民が預けた場合、費用負担はどうか。

担当者

国の同じ基準に従って行っているため、特に自治体間で片方が負担を負っているということはないと思う。

委員

比較対象の自治体の中に、みやこ町を入れるべきではないかと個人的に考える。

事務局（九経調）

次回までにまた検討させていただきたいと思う。

委員

活発な議論をしていただき御礼申し上げます。限られた時間の中でデータがとる必要があると考える。戦略的にデータで示すことを検討の上改めて報告していただければと思う。

事務局（九経調）

細かい話になれば細かいデータが必要になるが収集が困難である。県のデータあれば、そこで比較できるとありがたいと思っている。独自でも調査はするが、ご協力お願いしたい。

6 事務連絡

第1回議事録の公開形式の確認